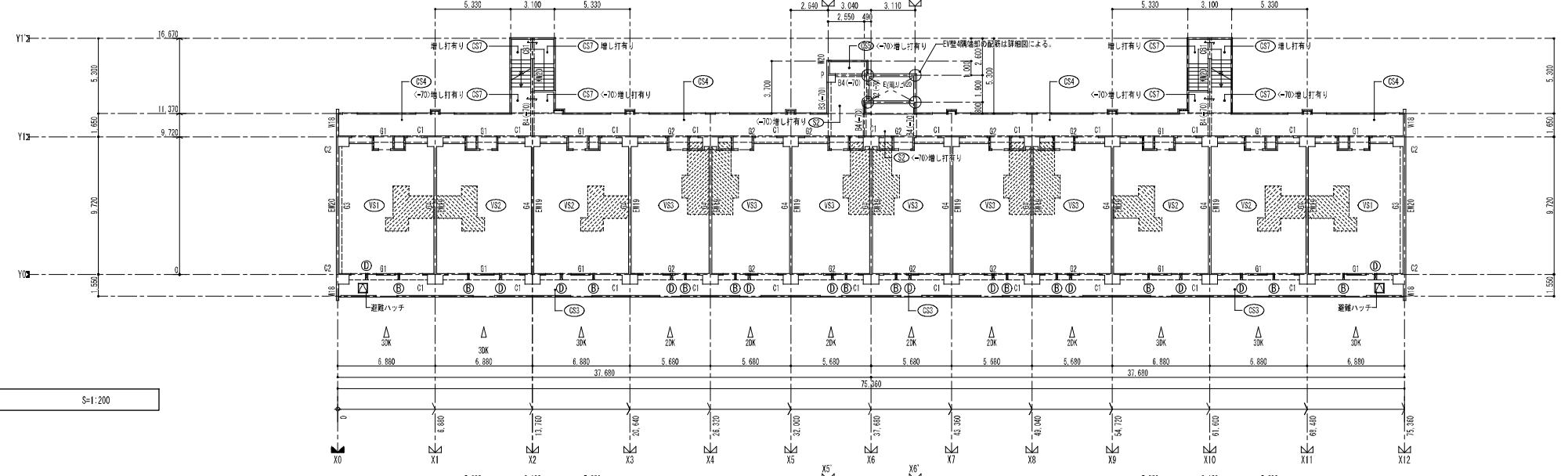
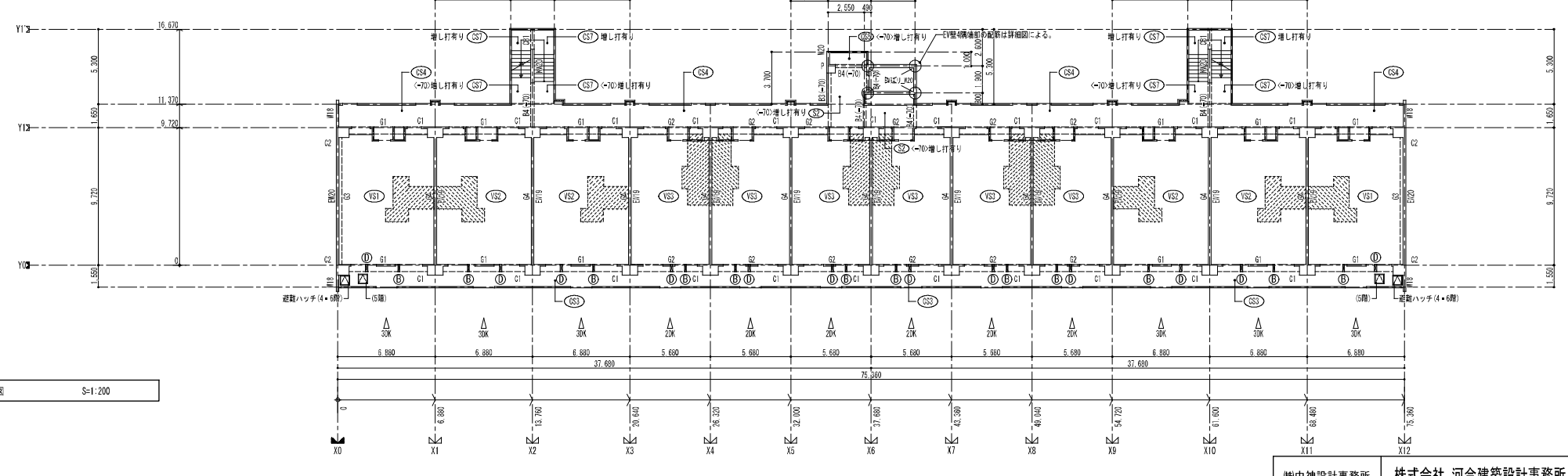


R階梁伏図 S=1:200



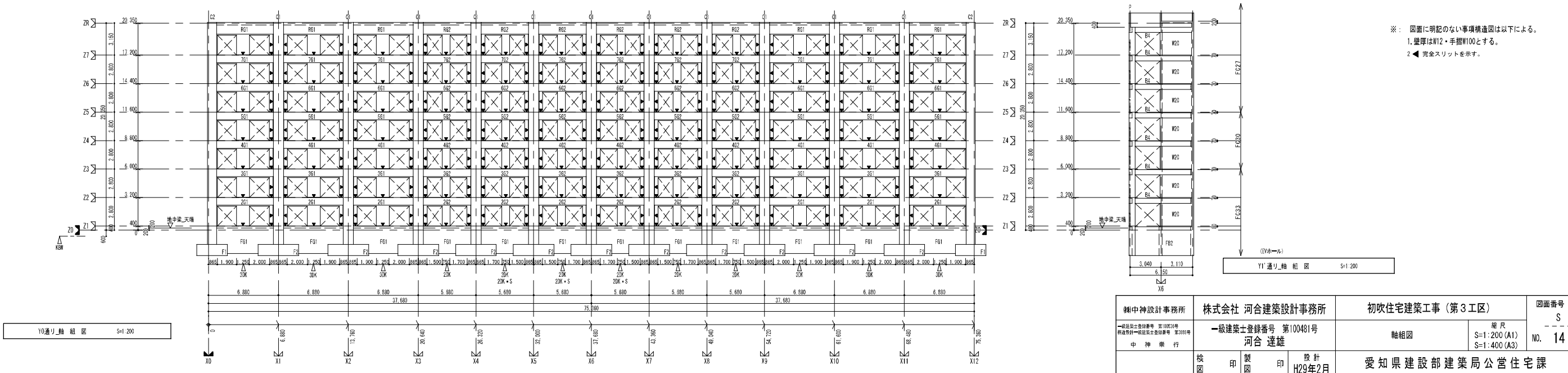
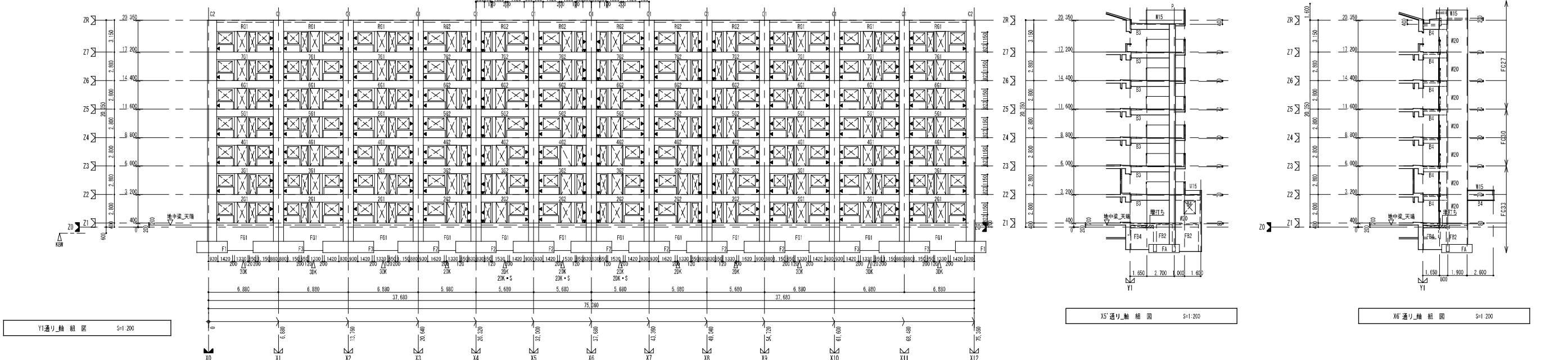
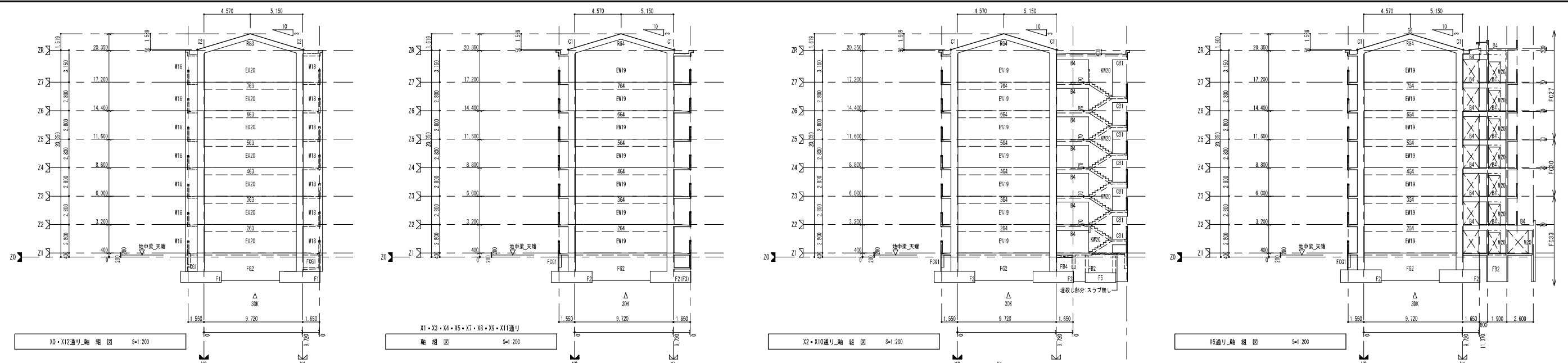
7階梁伏図 S=1:200



4~6階梁伏図 S=1:200

- ※： 特記のない事項は下記による。
1. スラブ天端はZn±0とする。
 2. RFスラブ天端は意匠図による。
 3. <>内数値はスラブ天端レベルを示す。
 4. は、スラブ天端Zn-100を示す。
 5. はスラブ主筋方向を示す。
 6. ()内数値は梁天端レベル (Zn基準) を示す。
 7. 壁は#12・手摺は#10とする。
 8. 階段室内のスラブ天端は意匠図による。
 9. はスリーブ位置を示す。
 10. 梁天端はZn±0とする。
RG1, RG2, RG3梁天端レベルはZR-200とする。
RG4, RG5, B1梁天端レベルは意匠図による。
 11. 共用廊下・バルコニー床形状は詳細図による。

株式会社 河合建築設計事務所 一級建築士登録番号 第100481号 河合 建雄	初次住宅建築工事 (第3工区) 4~6階・7階・R階 梁伏図 製尺 S=1:200 (A1) S=1:400 (A3)	図面番号 S NO. 13
中 神 興 行 検 印 製 印 設 計 H29年2月	愛知県建設部 建築局 公営住宅課	



※：図面に明記のない事項構造図は以下による。
 1. 壁厚はW12・手摺W10とする。
 2. ◀完全スリットを示す。

中神設計事務所 <small>一級建築士登録番号 第100516号 構造設計一級建築士登録番号 第3889号 中神 崇行</small>	株式会社 河合建築設計事務所 <small>一級建築士登録番号 第100481号 河合 建雄</small>	初次住宅建築工事 (第3工区) 軸組図 縮尺 S=1:200 (A1) S=1:400 (A3)	図面番号 S NO. 14
校 図 印	製 図 印	設 計 H29年2月	愛知県建設部 建築局 公営住宅課

特記：幅止め筋は D10-@1000 程度とする。
S13はKSS785とする。
X方向とY方向の主筋が干渉する場合、Y方向の主筋を下に配置すること。

大梁リスト		1/50				
階	位置	G1	G2	G3	G4	
R	断面					
	B x D	450 x 900	450 x 900	400 x 500	400 x 500	400 x 500
	上端筋	4-D25	4-D25	5-D22	5-D22	5-D22
	下端筋	4-D25	4-D25	5-D22	5-D22	5-D22
	S T P	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200
7	断面					
	B x D	450 x 750	450 x 750	400 x 700	400 x 700	190 x 700
	上端筋	7-D25	7-D25	4-D22	4-D22	2-D19
	下端筋	6-D25	6-D25	4-D22	4-D22	2-D19
	S T P	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@200	D13-□-@200	D10-□-@200
6	断面					
	B x D	450 x 750	450 x 750	400 x 700	400 x 700	190 x 700
	上端筋	7-D25	7-D25	4-D22	4-D22	2-D19
	下端筋	6-D25	6-D25	4-D22	4-D22	2-D19
	S T P	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@200	D13-□-@200	D10-□-@200
5	断面					
	B x D	500 x 750	500 x 750	400 x 700	400 x 700	190 x 700
	上端筋	8-D25	8-D25	4-D22	4-D22	2-D19
	下端筋	8-D25	8-D25	4-D22	4-D22	2-D19
	S T P	S13-□-@150	S13-□-@150	D13-□-@200	D13-□-@200	D10-□-@200
4	断面					
	B x D	500 x 750	500 x 750	400 x 700	400 x 700	190 x 700
	上端筋	8-D29	8-D29	5-D22	4-D22	2-D19
	下端筋	7-D29	7-D29	5-D22	4-D22	2-D19
	S T P	S13-□-@150	S13-□-@125	D13-□-@200	D13-□-@200	D10-□-@200
3	断面					
	B x D	500 x 750	500 x 750	400 x 700	400 x 700	190 x 700
	上端筋	8-D29	8-D29	5-D22	4-D22	2-D19
	下端筋	7-D29	7-D29	5-D22	4-D22	2-D19
	S T P	S13-□-@150	S13-□-@125	D13-□-@200	D13-□-@200	D10-□-@200
2	断面					
	B x D	500 x 750	500 x 750	400 x 700	400 x 700	190 x 700
	上端筋	8-D29	8-D29	6-D22	4-D22	2-D19
	下端筋	7-D29	7-D29	6-D22	4-D22	2-D19
	S T P	S13-□-@150	S13-□-@125	D13-□-@200	D13-□-@200	D10-□-@200

特記：C1, C2, C3の2F~4Fの仕口内HOOPは、S13-□@100とする。
上記以外の仕口内HOOPは、D13-□@100とする。
HOOPは、浴槽形配とする。
(中子筋は、135°フック付とする)
S13はKSS785とする。

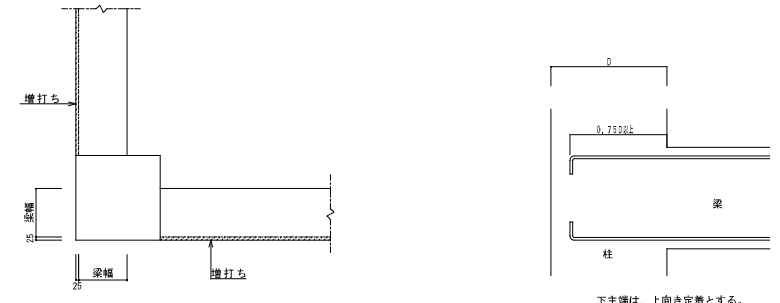
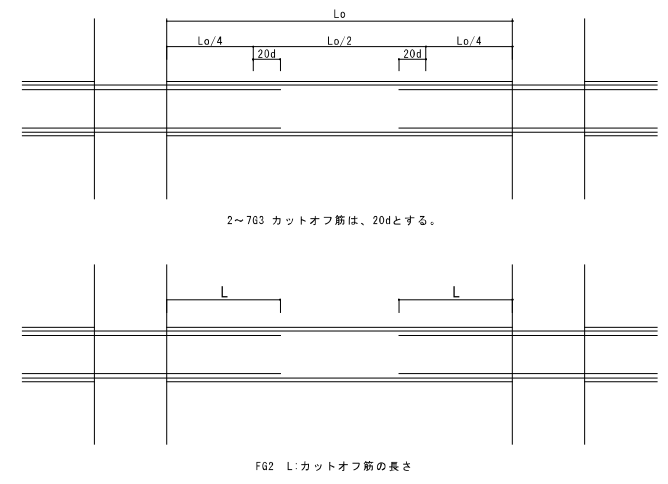
柱リスト		1/50		
階	位置	C1	C2	P
7	断面			
	主筋	16-D25	16-D25	8-D19
	HOOP	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
6	断面			
	主筋	16-D25	16-D25	8-D19
	HOOP	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
5	断面			
	主筋	16-D25	16-D25	8-D19
	HOOP	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
4	断面			
	主筋	16-D25	16-D25	8-D19
	HOOP	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
3	断面			
	主筋	16-D25	16-D25	8-D19
	HOOP	S13-□-@100	S13-□-@100	D13-□-@100
2	断面			
	主筋	16-D25	16-D25	8-D19
	HOOP	S13-□-@100	S13-□-@100	D13-□-@100
1	断面			
	主筋	18-D25	18-D25	8-D19
	HOOP	S13-□-@100	S13-□-@100	D13-□-@100

特記：幅止め筋は D10-@1000 程度とする。
X方向とY方向の主筋が干渉する場合、Y方向の主筋を下に配置すること。

地中梁リスト		1/50		
階	位置	FG1	FG2	
7	断面			
	B x D	500 x 2500	400 x 2500	
	上端筋	8-D25	6-D25	4-D25
6	断面			
	B x D	500 x 2500	400 x 2500	
	上端筋	8-D25	6-D25	4-D25

特記：幅止め筋は D10-@1000 程度とする。

地中梁リスト		1/50						
階	位置	FB1	FB2	FB3	FB4	FB5	FB6	FCG1
7	断面							
	B x D	300 x 1400	350 x 2500	300 x 1300	350 x 2250	300 x 2400	300 x 1200	350 x 1600
	上端筋	3-D22	4-D22	3-D19	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22



※ 大梁の取り付く位置は、柱主筋を考慮して、柱面より25mm以上とする

梁筋定着要領

中神設計事務所 <small>一級建築士登録番号 第100481号 建築師法一級建築士登録番号 第3889号</small> 中 神 集 行	株式会社 河合建築設計事務所 一級建築士登録番号 第100481号 河合 建雄	初次住宅建築工事 (第3工区) 大梁リスト・地中梁リスト 小梁リスト・柱リスト 縮尺 S=1:50 (A1) S=1:100 (A3)	図面番号 S NO. 16
検印	製印	設計 H29年2月	愛知県建設部 建築局 公営住宅課

小梁リスト 1/50

特記：幅止め筋は D10-@1000 程度とする。

符号	B1		B2		B3		B4		B5		CB1		CB2	
	両端	中央	全断面		全断面		全断面		全断面		全断面		全断面	
断面														
B x D	300 x 650		300 x 650		300 x 500		200 x 500		200 x 500		200 x 500		200 x 500	
上端筋	4-D22	3-D22	3-D22		4-D16		3-D16		2-D16		4-D16		3-D16	
下端筋	3-D22	3-D22	3-D22		4-D16		3-D16		2-D16		2-D16		2-D16	
STP	D10-@200		D10-@200		D10-@200		D10-@200		D10-@200		D10-@200		D10-@200	
腰筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	
備考														

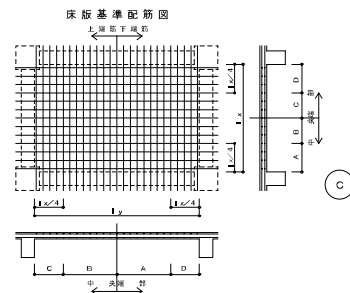
壁リスト 1/50

※エレベーター壁W20のコーナー筋は、4-D19とする。

符号	W12	W15	W18	W20	KW20	EW19	EW20	開口部補強筋
	断面(立断面)							
縦筋	D10 #150(シングル)	D13 #150(シングル)	D10 #200(ダブル)	D13 #200(ダブル)	D13 #150(ダブル)	D10 #200(ダブル)	D10 #200(ダブル)	
横筋	D10 #150(シングル)	D10 #150(シングル)	D10 #200(ダブル)	D10 #200(ダブル)	D10 #200(ダブル)	D10 #200(ダブル)	D10 #200(ダブル)	
開口部補強筋	1-D13	1-D13	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	
幅止め筋	1-D13	1-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	
備考	非耐震壁	非耐震壁	非耐震壁	非耐震壁	非耐震壁	耐震壁	耐震壁	

床リスト

符号	版厚	位置	短辺方向 X				長辺方向 Y				備考
			柱間帯		柱列帯		柱間帯		柱列帯		
			端部 (A)	中央 (B)	全断面 (C, D)	端部 (C)	中央 (B)	全断面 (A, D)			
S1	150	上端筋	D13 #200			D13 #200				モチアミ	
		下端筋	D13 #200			D13 #200					
S2	150	上端筋	D10, D13 #200			D10, D13 #200				モチアミ	
		下端筋	D10, D13 #200			D10, D13 #200					
S3	150	上端筋	D13 #150			D13 #150				モチアミ	
		下端筋	D13 #150			D13 #150					
S4	150	上端筋	D13 #200			D10 #200				モチアミ	
		下端筋	D10 #200			D10 #200					
S5	200	上端筋	D13 #150			D13 #150				モチアミ	
		下端筋	D13 #150			D13 #150					
S6	200	上端筋	D13 #150			D13 #200				モチアミ	
		下端筋	D13 #150			D13 #200					
S7	200 130	上端筋	D10, D13 #200			D10 #200				モチアミ	
		下端筋	D10 #200			D10 #200					
CS1	200 150	上端筋	D13 #200			D10 #200				モチアミ	
		下端筋	D10 #200			D10 #200					
CS2	200 150	上端筋	D13 #150			D10 #200				モチアミ	
		下端筋	D10 #150			D10 #200					
CS3	200 130	上端筋	D13 #150			D10 #200				モチアミ	
		下端筋	D10 #150			D10 #200					
CS4	200 130	上端筋	D13 #125			D10 #200				モチアミ	
		下端筋	D10 #125			D10 #200					
CS5	150	上端筋	D13 #150			D10 #200				モチアミ	
		下端筋	D10 #150			D10 #200					
CS6	200 150	上端筋	D13 #125			D10 #200				モチアミ	
		下端筋	D10 #125			D10 #200					
CS7	160	上端筋	D13 #125			D10 #200				モチアミ	
		下端筋	D10 #125			D10 #200					
CS8	160	上端筋	D13 #150			D10 #200				モチアミ	
		下端筋	D10 #150			D10 #200					



スリーブ標準配筋図 (2~R階梁)

符号	スリーブ径	2G~RG
㊦	100φ	認定既製品とする。
㊧	125φ	
㊨	150φ	
㊩	175φ	
㊪	200φ	

スリーブ標準配筋図 (地中梁)

*配管用75φ、100φは補強無し

配管用スリーブ	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
125φ~175φ	2-2-D13	2-2-D13	なし	なし	
200φ	4-2-D16	4-2-D13	なし	なし	
250φ~300φ	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
200x300	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
200x200	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	

実際の施工にあたってはスリーブの位置、径、本数、補強方法について別途設備業者などと事前に入念な打ち合わせをした上で位置を検討し施工に関しては監督職員と協議を行い、承認を得ること。補強方法は計算書を監督職員に提出し、承諾を得た上で認定既製品の使用を可能とする。